

事象の形成と副詞の修飾

伊藤さとみ

お茶の水女子大学

ito.satomi@ocha.ac.jp

本発表では、現代中国語の形容詞から派生した副詞（様態副詞）について、その修飾対象の動詞句に補語／アスペクト助詞を必要とする場合を取り上げ、中国語における事象の形成のあり方と、連用修飾構造について明らかにする。

伊藤 2008 では、以下のような結果状態を描写する様態副詞の群があることを指摘した。これらの副詞は、その修飾する動詞が補語を伴うか、アスペクト助詞を伴うことが必須である。

- 1) a. 我在人群中伸出手紧紧挽住他。
b. ?我在人群中伸出手紧紧挽他。
c. $\exists e_1$ [挽(e_1)&施事者(e_1 , 我)&受事者(e_1 , 他)& $\exists e_2$ [住(e_2)&导致(e_1, e_2)&方式(e_1, e_2 , 紧紧)]]
- 2) a. 他对惊慌失措的小明说：你最好紧紧挨在我身边。
b. *他对惊慌失措的小明说：你最好紧紧挨。
c. $\exists e_1$ [挨(e_1)&施事者(e_1 , 你)& $\exists e_2$ [在我身边(e_2)&施事者(e_2, e_1 的施事者)&导致(e_1, e_2)&方式(e_1, e_2 , 紧紧)]]
- 3) a. 孩子紧紧地拉着我的手不放。
b. ?孩子紧紧地拉我的手不放。
c. $\exists e_1$ [拉(e_1)&施事者(e_1 , 孩子)&受事者(e_1 , 我的手)& $\exists e_2$ [结果状态(e_2)&导致(e_1, e_2)&方式(e_1, e_2 , 紧紧)]]

伊藤 2008 では、それぞれ補語ないしアスペクト助詞の“着”が二つ目の事象を導入し、副詞が修飾するのはこの二つ目の事象であるとみなして、以上のcのような修飾構造を提案した。だが、アスペクト的意味しか持たないものに独立した事象を導入する機能を持たせることは問題があること、従って第一動詞の導入する上位事象と、これら補語・アスペクト助詞の導く下位事象との関係を規定する関数（导致(e_1, e_2 ））の役割もあいまいにならざるを得ないなど、いくつかの問題を抱えていた。

本発表では、中国語の動詞の非結果性という特性を踏まえて、中国語における補語とアスペクト助詞の役割が事象の形成に参与することを明らかにし、副詞の修飾する対象は動詞と補語／アスペクトとから形成された一つの事象であると述べる。

参考文献：伊藤さとみ 2008 <描写性状语和事象结构> 中国語研究第10期。

キーワード：形式意味論、事象構造、様態副詞、指向性